

医学研究科博士課程

学位申請の手引き

課程博士（甲）

令和7年3月

蔵本事務部医学部学務課第一教務係(医学研究科)担当

電話 (088) 633-9649 (内線9649)

メール isygakumudgic@tokushima-u.ac.jp

課程修了に係る学位審査提出書類一覧表

提出書類等	必要部数等	備考
【学位審査に係るもの】		
学位申請書等関係書類の主任教授確認書(様式0)	1部	
学位申請書(様式1)	1部	
履歴書(様式5)	1部	※両面印刷不可 ※ホッチキス留め不可
研究内容報告書(様式6)	1部	※両面印刷不可 ※ホッチキス留め不可
業績目録(様式7)	1部	※両面印刷不可 ※ホッチキス留め不可
論文(学術雑誌等に公刊済のもの) (公刊予定のものは、受理証明(1部)を添えること)	10部	別刷(ジャーナル名が記載されていること)
論文内容要旨(様式8)	1部	※両面印刷不可 ※ホッチキス留め不可
参考論文のあるときは、当該論文(学術雑誌等に公刊予定のものは、受理証明を添えること)	各5部	
共著者の承諾書(様式9)(原本)	1部	共著者全員分必要
誓約書(様式14)	1部	
成績証明書	1部	
推薦書等	1部	早期修了申請(学力優秀)の場合のみ
研究活動におけるチェックリスト	作成済分	※毎年10/1を基準として作成したチェックリスト
【学位論文のインターネット利用による公表に係るもの】		
学位論文の徳島大学機関リポジトリによる公表申請書(様式1)	1部	
<input type="checkbox"/> 上記公表申請書で「論文全文の公表」を申請する場合		
学位論文(PDFファイル)		USBメモリ等に保存 ※公刊済の場合は雑誌掲載時のファイルとアクセプト直後のファイルの両方を提出 ※公刊予定の場合はアクセプト直後のファイルを提出

□上記公表申請書で「論文全文の公表の延期」を申請する場合		
学位論文（PDFファイル）		USBメモリ等に保存 ※公刊済の場合は雑誌掲載時のファイルとアクセプト直後のファイルの両方を提出 ※公刊予定の場合はアクセプト直後のファイルを提出
論文の要約（様式2） （紙媒体及びPDFファイル）		PDFファイルはUSBメモリ等に保存
□上記公表申請書で「論文の要約の公表」を申請する場合（論文全文を公表できない特別な理由がある場合）		
論文の要約（様式2） （紙媒体及びPDFファイル）	1部	PDFファイルはUSBメモリ等に保存

各種様式はこちらからダウンロードしてください。

http://www.tokushima-u.ac.jp/med/related_info/ikagakugakui.html

備考

- 1 提出締切日 第1次審査に諮る予定月の前月最終日。（土日祝日除く。一次審査予定日については、主任教授と相談のうえ、提出のこと。）

ただし、9月、2月、3月については学務課へ問い合わせること。

- 2 提出方法 論文・参考論文はそれぞれひとまとめにし、他の申請関係書類は、クリアファイル等でひとまとめにして提出のこと。その際には、分野名・氏名・連絡先電話番号等を記入しておく。（これが記入されてないと手続きが遅れることがあります。）

- 3 提出及び照会先

徳島大学蔵本事務部医学部学務課

第一教務係(医学研究科)担当(088-633-9649 内線：9649)

※ 徳島大学教職員の方は、学位が授与された後、学位記のコピーを人事課へ提出してください。

学位申請書類に関する確認事項

学位申請書類作成にあたっては、以下の各項目を確認の上、様式をHPからダウンロードして作成してください。

また、各様式のチェックポイントを後述していますので、併せてご確認ください。

① 履歴書（様式5）

- 日付は和暦とする。（外国人の生年月日は西暦）
- 医学科卒業は年月日まで記入する。（徳島大学卒は年月でよい。）
- 医師国家試験合格は年月までの記入でよい。
- 医籍登録は年月日まで記入する。
- 大学院入学（修了）は各自で確認し、年月日まで記入する。
- 職歴は年月まで記入する。（日はあってもなくても構わない。）

② 研究内容報告書（様式6）

- 「研究歴概要報告書」とでも呼ぶべきものであり、これまでに行ってきた様々な研究の概要について（全体像）まとめて書く。
- 参考論文、その他の論文、学会発表等どれで発表した内容でもかまわないが、できるだけ今回の学位論文内容に関連づけてわかりやすく書く。
- 履歴書ではなく申請者の研究バックグラウンドを知ることが目的とするにふさわしいものであること。

③ 業績目録（様式7）

- 論文のタイトル（学位論文）には下段にカッコ書きで日本語訳をつけるが、その他の論文・参考論文に日本語訳は不要。
- 学位申請者の業績を理解するための論文のうち、直接主論文に関わりのあるものを「参考論文」とし、それ以外のものを「その他の学術論文」として扱う。このため、場合によっては参考論文、その他の学術論文がなくてもよい。
- 論文（参考論文・その他の学術論文）及び学会関係事項は、いくつ記載するかは本人の考え方にまかせる。
- 論文（学位論文・参考論文・その他の学術論文）の共著者名は、略さず全員分記入する。
- 共著論文及び発表者が複数である場合には、本人の氏名に下線を付すこと。
- ページ数はフルで書く。
- 公刊予定の論文については、公刊予定の時期及び雑誌等の名称を記入すること。

○参考論文・その他の学術論文について

- 参考論文は、学位論文に関係のある論文について、論文ごとにNo.を付し、題目、著者、発行年月日、発表雑誌等の名称、巻及び号並びに論文の概要（和文200字程度）を記入すること。
- 参考論文の概要（和文200文字程度）の程度とは±10%程度とする。
- 論文（参考論文）の印刷中のものは証明書を添付すれば記載してもよい。（投稿準備中のものは不可。アクセプト可。共著者の場合、証明書はコピー可。）
- 論文（参考論文・その他の学術論文）の共著者名は、ジャーナルに発表していると

おりの名前にする。

- その他の学術論文の概要（和文 200 文字程度）はなくてもよい。
- その他の学術論文については、学位論文及び参考論文以外の学術論文を上記の学術論文、参考論文に準じて記入すること。

※「参考論文」と「その他の学術論文」の区別の仕方※

参考論文とは、学位審査の時に学位論文の研究の内容の理解を深めるために必要なものを指します。「その他の学術論文」との区別は微妙ですが、あくまでも参考論文の目的はこのようなものですので、各自ご配慮ください。

○学会発表について

- 題目、発表者、学会名、開催都市名、発表年月日及び発表の概要（和文 200 字程度）を記入する。

○その他・所属学会について

- 現在所属している学会名及び入会年月日を記入すること。（入会年は和暦で記入。）所属学会の入会時期は年だけでもよい（月日はわかる範囲でよい。）。
- その他については、これまでに記入した業績以外に著書、翻訳等があれば記入すること。

④ 論文内容要旨（様式 8）

- 論文（学位論文）には下段カッコ書きで日本語訳をつける。
- 申請者が自己の研究内容の評価をするような表記は避けること。
- 論文の中身が分かるよう「目的・問題提起・考察・まとめ」のように論文の構成に沿ったかたちでまとめること。

⑤ 認定証明書及び推薦状（早期修了申請者の場合）

※早期修了を申請する場合は、予め第一教務係にご連絡ください。

- 推薦者名は必ず署名とする。印はいらない。
- 添付資料は学位論文の掲載された雑誌のインパクトファクターにマーカー等をつけたものを添付する。
- 学会は開催通知等（学会名・日時・場所・発表者名等がわかるもの）のコピーを添付する。
- 論文の場合には、筆頭であること。
- 成績証明書を添付する。

⑥ その他

- 申請書類の文書スタイルは左端余白 3cm、12 ポイント、明朝体とする。
- 学位論文（別刷）は雑誌名が記載されていること。
- 別刷ができていないときの提出論文は、雑誌名を入れて準備（コピーを準備）すること。
 - ◇ 学位論文、参考論文について、論文印刷中の証明書は、雑誌社のアドレスが記載されているメール文を添付してもよい。（何の雑誌にアクセプトされたか、わかるもの。）
- 公開審査の案内文・ポスター等は各講座が配布・案内する。
 - ◇ 案内文を学務課にお送りいただいた場合は、学務課前の掲示板に掲示します。（必ずしも学務課に案内文をお送りいただかなくて結構です。）

様式（0）のチェックポイント

主任教授にご確認・ご記入いただく。

令和 年 月 日

医学研究科長 殿

主任(指導)教授氏名

印

学位申請書等関係書類の確認について

下記の者に係る学位申請書等関係書類については、内容・文書及び様式等を責任をもって確認しましたので、審査方よろしくお願いします。

記

申請者氏名 _____

確認した事項

	履歴書の研究歴は正しく記載されている。
	履歴書の職歴は正しく記載されている。
	研究内容報告書は正しく記載されている。
	論文内容要旨は正しく記載されている。

様式（1）のチェックポイント

年月日は、様式0、様式5と合わせる。

令和 年 月 日

徳島大学長 殿

署 名

学 位 申 請 書

このたび、徳島大学学位規則第6条第1項の規定に基づき、博士の学位論文の審査及び最終試験を実施くださるよう関係書類を添えて申請します。

様式（５）のチェックポイント

文頭を揃える

履 歴 書

報告番号	甲 医第	号	手書きの ○でよい
(ふりがな) 氏 名	上下の真中に配置する		男 女
生年月日	日本人は和暦、外国人留学生は西暦		
本 籍	都道府県名のみでよい。外国人留学生は国名		
現住所	外国人留学生の国名は、正式な名称を記載すること。 例：×中国 ○中華人民共和国 ×インドネシア ○インドネシア共和国		

医籍登録
は正確な
年月日を書
くこと。

平成○年 3 月 2 1 日
平成○年 4 月
平成○年 4 月 2 5 日
令和○年 4 月 1 日

最終学歴

徳島大学医学部医学科卒業
第○回医師国家試験合格
第○○○○○○号医籍登録
徳島大学大学院医科研究科医学専攻
(○○分野) 入学
現在に至る

大学院入学、場合により、転コ
ース・分野、単位取得退学、再
入学を書く。

令和3年度入学以前は、医
科学教育部、令和4年度入
学以降は、医学研究科

文頭を揃える。

年月日まで書くこと。

単位取得退学者は、「現在に至る」
は書かない。

職 歴

平成○年○月○日
平成○年○月○日
平成○年○月○日
平成○年○月○日
平成○年○月○日
平成○年○月○日
平成○年 4 月 1 日
令和○年 3 月 31 日
令和○年 4 月 1 日

○○大学医学部附属病院医員(研修医)(○○○○)採用
○○大学医学部附属病院医員(研修医)(○○○○)退職
○○○○○○病院医師(○○科)採用
○○○○○○病院医師(○○科)退職
○○病院非常勤嘱託医(○○科)採用
○○病院非常勤嘱託医(○○科)退職
○○大学医学部附属病院医員(○○○○)採用
○○大学医学部附属病院医員(○○○○)退職
○○大学医学部附属病院医員(○○○○)採用
現在に至る

注) 徳大病院の表記は、

平成15年9月30日までは徳島大学医学部附属病院

平成15年10月1日から平成22年3月31日までは徳島大学医学部・歯学部附属病院

平成22年4月1日からは徳島大学病院

※この注意書きは印刷の前に削除してください。

賞 罰

な し

上記のとおり相違ありません。

令和○年○月○日

年月日は、「学位申請書等関係書類の確認について(様式0)」、「学位申請書(様式1)」と同日とすること。

署 名

様式（6）のチェックポイント

研 究 内 容 報 告 書

報告番号	甲医第	号	氏 名	
------	-----	---	-----	--

- ▶ 左端余白 3 cm、12 ポイント、明朝体で記載。
- ▶ 博士論文に至るまでの研究に従事した内容について、和文 1,000 字～1,500 字程度で要点を分かりやすく記載する。
- ▶ 表記の仕方を統一する。
 - ◇ 「, 」と「、」、「。」と「. 」のどちらかに統一する。
 - ◇ 英文字体のフォントとサイズは原則として統一すること。
 - ◇ 全角、半角を使い分ける時に、使い分け方を統一する。
 - ◇ イタリックを使用する時は、使用の方法を統一すること。
- ▶ 英語等の頭文字を取った略語等を使用する際は、一回目にその語を記載するときには正式な名称を併記すること。二回目以降は略語のみでも可。

b) 誌上発表される前で、Onlineにて先行発表されている場合

➤ 誌上発表予定である旨を明確に記載する。Onlineで発表された際の論文情報を記載するとともに、あらかじめ誌上発表される際の論文情報が分かっていたら記載する。

<記載例>

著者 ○○○○、○○○○○、○○○○、○○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

○○○○ (西暦) 年○月○日発行

○○○○○ にOnlineで先行発表済

(第○巻第○号に誌上掲載予定)

Article number : ○○○○○○○○

DOI : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

著者名

Onlineで発表された発行日。(西暦)を記載。

発行ジャーナル

分かっていたら、誌上発表される際の論文情報。未定の場合、記載は不要。

DOI

Article number 不明な場合は省略可

3. Onlineジャーナル

➤ 発表された際の論文情報を記載する。ただし発表前であれば発表後に論文情報を速やかに知らせること。

<記載例>

著者 ○○○○、○○○○○、○○○○、○○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

○○○○ (西暦) 年○月○日発行

○○○○○ に発表済 (に掲載予定)

Article number : 第○巻第○号 ○○○○○○○○

: ○○○○○○○○

DOI : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

著者名

発行日 (西暦)

発行ジャーナル名

Article number : 巻・号がある場合

Article number : 巻・号がない場合

DOI

② 学位論文が2編以上に分割発表された場合は、総合的題目を付し、次の形式で記入すること。

題目 (総合的題目)

- (1) 第1編 (上編第1報) 題目
著者 (上記①を参照して記載すること)
- (2) 第2編 (上編第2報) 題目
著者 (上記①を参照して記載すること)
- (3) 第3編 (上編第3報) 題目
著者 (上記①を参照して記載すること)

様式（9）のチェックポイント

共 著 者 の 承 諾 書

共著者の承諾が得られてから学位申請すること。承諾書の日付は様式（1）学位申請書の日付よりも前でなければならない。

令和 年 月 日

令和4年度から大学院名称変更に伴い、宛名が「医学研究科長」になっています。「医科学教育部長」ではないので注意。

徳島大学大学院医学研究科長 殿

所属・職名は現職でよい。外国人の場合は、サインのみでよい。

共著者氏名 印
所属・職名

論文題目「

発表された論文題目と一字一句同一であること。承諾書に和文題目は付さなくてよい。

〇〇（西暦）年〇月〇日発行 〇〇〇〇〇〇〇第〇巻第〇号
〇〇ページから〇〇ページに発表済
Article number: 〇〇〇〇〇〇〇〇
DOI: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

これは一例です。様式7・8の記載と統一すること。

上記論文を 氏が徳島大学に申請する博士の学位論文として提出することを承諾します。

なお、将来においても学位論文として他に使用しません。

また、本文全体を同氏の学位論文として徳島大学機関リポジトリで公表することを（どちらかにチェックを入れてください）承諾いたします。

承諾いたしません。

チェックが入っていることを提出前に確認すること。

（注）

- 1 学位規則により、平成25年4月以降に学位を授与される学位論文は、原則として当該博士の学位を授与する大学の機関リポジトリにより、その全文を公表することが定められています。
- 2 上記1の理由により、万が一チェックに不備がある場合は、本文全体の機関リポジトリ公表を承諾いただいたものと判断させていただきます。
- 3 雑誌発表に伴い出版社等に著作権が移動している場合は、現著作権者の意向を優先させていただきます。

※原本を提出すること。ただし、共著者が海外在住の外国人で原本が取り寄せられない場合、メールでPDFファイルを送信いただいたものでよい。ただし、共著者から送信した旨のメール本文も併せて添付すること。

誓 約 書

年月日は、様式0、様式5と合わせる。

令和 年 月 日

徳島大学長 殿

学位申請者氏名（自署）

学位申請論文名

私は、博士(医学)の学位申請にあたり、研究倫理に関する諸規範を遵守し、データや調査結果等の捏造・改ざん・盗用及び論文の二重投稿等研究不正をしていないことを誓約します。

主任（指導）教授 確認

剽窃防止ソフトを用い上記論文を調査するとともに、上記論文に研究不正がないことを確認しました。

所 属

主任（指導）教授（自署）